

協働の地域づくり活動

協議会長 佐光 邦靖

嘉川の皆様には、平素から地域づくりに当たって、大変なご協力をいただき心からお礼を申し上げます。

〈25年度の事業計画〉のうち、重点的な事項についてご説明いたします。

① 安心安全な地域づくりとして、地域防災活動の研修やその組織の確立等万全の対策を図ってまいります。

各自治会の「自治会防災組織の立ち上げとその支援」など、防災全般にわたって推進いたします。



② 地域文化の伝承と豊かな風土づくりをめざして、「郷土学習と遺跡・史跡の顕彰と整備」を続けてまいります。2年間にわたって、各自治会や子ども会の皆様のご協力をいただきながら百箇所に標柱を建立しました。

今後は、それぞれの内容についての説明資料と巡回のマップづくりを行うこととしております。

③ 「地域産品の創出と産業や交流の促進」によって、地域の活性化を推進するための事業を展開いたします。

4年目を迎えた米づくり体験イベントや地域資源を生かした交流イベントも開催する予定です。

なお、地域づくり計画は平成22年からの5年間にわたる計画ですから、あと2年は次頁に掲載したとおりの事業展開を継続しますが、①②③の重点事業のほか、環境づくりとして、地域の環境保全や里道・水路等の土木工事全般を実施すると共に、老人の交通安全学習、児童の登下校の安全確保、子どもと高齢者の世代間交流、花いっぱい活動の推進、スポーツ用具の貸し出しと健康づくり、子育て支援、住民の皆様への福祉全般など、盛り沢山の事業を展開してまいります。

自治会の皆様、各機関の皆様、さらには地域のお一人お一人の皆様のご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

嘉川ふるさと写真館

大浦古墳群と公園

大浦山頂上の古墳



大浦1号古墳の発掘



発掘作業風景



現在の古墳公園



平成13年の阿知須「未来博」開催に当たって「きらら道」が建設された際に、浦部、大浦、梅ヶ崎の各古墳群が精密調査された。それを期に嘉川建設振興会等による保存活動で、代表的な6基を移設し「大浦古墳公園」を開設。

常時開園されているが、案外知られていないのか尋ねる人は少ない。

きらら道の浦辺―相原間の側道に位置していて、常時きれいに清掃されている。

ぜひ訪れてもらいたいものである。

(嘉川の文化財―杉山正實著から)

地域づくり活動事業 平成24年度決算 及び 25年度予算

◆収入の部

単位:円

費 目	H24決算	備 考	H25予算
交付金及び助成金	10,838,217	山口市地域づくり交付金	12,278,000
	1,024,360	センター活動推進費、地区社協助成	1,024,360
	816	預金利息	640
合 計	11,863,393		13,303,000

◆支出の部

単位:円

費 目	H24決算	備 考	H25予算
協議会運営	4,196,112	事務局人件費、事務費	4,703,000
地域振興	1,145,479	地域づくり協議会広報	1,150,000
		あいさつ運動の推進	
		郷土学習と遺跡・史跡の顕彰と整備	
		食生活改善と推進	
		登山コース、ハイキングコースの標示と整備	
		盆踊り	
		地域交流センター改築の推進(～H24)	
地域福祉	495,952	見守りグループ活動	460,000
		生き生きサロン活動の充実	
		子育て支援組織活動と支援	
		高齢者活動の推進	
		生涯スポーツの推進	
		福祉活動計画見直しと重点計画	
		ボランティア活動の研修と推進	
安心・安全	983,160	反射鏡設置事業	1,080,000
		高齢者ドライバー1日ドック	
		児童・生徒登下校時の安全確保	
		地域防災活動	
環境づくり	4,908,293	土木工事	5,530,000
		道路・河川・海岸の清掃活動、地域環境美化活動の推進	
		花いっぱい運動の推進	
		桜公園の建設推進	
地域個性創出	134,397	子どもと高齢者の世代間交流事業の推進	380,000
		子どもと高齢者世代間交流による昔話の伝承	
		地域産品創出事業	
		古記録・古行事・古写真の収集並びに編集	
合 計	11,863,393		13,303,000

災害に備えて地域では

防災活動事業の 指定地域に決定

自治部会 竹本 憲治郎

本年度、嘉川が山口市の「地域防災活動促進事業」の実施対象地域として指定されました。

この事業の目的は、自主防災組織結成に向けた地域の防災活動の促進及び自主防災組織の活性化、地域リーダーの育成等地域防災力の向上を図るとされています。

嘉川地域づくり協議会においては、市の指導のもとに、自治会、自主防災組織、福祉関係、学校関係、消防団など地域コミュニティが連携した地域自律型・持続型の防災活動を目指し、活動を進めていくことにしています。

まず初年度の取組みとして、嘉川、興進の小学校区に分けて、避難の在り方について考える「地域防災ワークショップ」を開催します。そしてここで、自治会等をはじめとする地域コミュニティを対象にして、講演や図上演習を実施する予定です。災害はいつ、どこで誰が遭うか分かりません。決して他人事ではないのです。自分のためにも、どうか皆様方のご協力をよろしく願います。

嘉川地域づくり協議会主催の福岡 市民防災センターの研修に参加して

社会部会 井上 栄子

地域防災活動の一環として災害の疑似体験や防災知識等を学ぶため「福岡市民防災センター」での研修に参加しました。(3月22日) 強風・地震・火災体験、消火訓練等がありました。最もインパクトが強かったのが震度7の地震体験です。設置された椅子に座ると徐々に揺れがひどくなり、震度7まで進むと横揺れ縦揺れが容赦なく襲ってきます。

テーブルを強く掴まえていた手が揺れに負けて、テーブルから離れた。そうになりました。体験では机も椅子も固定されているので飛ばされることはありませんが、



防災センターでのハードな体験をおえて

実際の場合では、家具が倒れる等様々な危険要素が加わり、想像を超えるような恐怖や不安に襲われるものと思われれます。わずか15秒間のことだったのですが、地震の恐さを体験することができました。

もしものために日頃から、講習会等に積極的に参加し、災害に備えておくことの大切さを痛感した、実りある研修でした。

防災拠点としての 嘉川地域交流センター —あなたの安心・安全をサポート するために—

センター長 吉村 信一

交流センターは地域の「予定避難場所」として位置づけられており、避難勧告・指示などが発令された場合、最初に開設される施設です。そのために各種対策が取られています。身体的弱者にも使いやすいよう、センター内は完全なバリアフリーで、二階に上がる場合はエレベーターが使えます。

一・二階ともトイレ・多目的トイレがありますし、シャワー設備も整っています。また、停電時にも対応できるよう、太陽光発電設備も付いており、いざという時にはとても心強い施設となっています。

幸いにもセンター開所以来避難所としての利用はまだありません。今後も利用しないのが一番良いのですが。

テーマ

ふるさと嘉川への私の想い

盆おどり

中野 尊子(深溝東)

私が嘉川に住むことになって8年になります。私の住む深溝も高齢の方が多い地区ですが、皆さん大変お元気で活気があり、いろんな行事に積極的に参加されています。

毎年、8月14日に深溝地区の盆おどりが行われます。早朝より、地域の方が櫓やぐらを組み、用意した竹にそれぞれ子どもたちが作った短冊や飾りをくくりつける毎年の恒例行事です。



夜になると、その櫓やぐらの周りで久しぶりに帰省した人も一緒になって皆で盆おどりを楽しみます。子どもたちのもう一つのお楽しみは、子ども会の役員さんが用意するかき氷や、綿菓子にビンゴゲーム。子どもたちの長い列の前に役員さんは汗だくになりながら綿菓子を作ります。

久しぶりに会った同級生とのおしゃべりを楽しむ人や、大きくなったお孫さんの様子に目を細めるおじいちゃん、おばあちゃん。大好きなふるさとに帰って、懐かしい人に会えるこの盆おどり。この大切な行事が今後もずっと続いて欲しいと思います。

私の娘も来春には進学のためこの地を離れる予定ですが、娘にとってもここ嘉川が、かけがえのない『ふるさと』になるはずです。

「きずな」を大切に

中学一年 中村 理乃(稽古屋)

夕食に、野菜を使った料理がたくさんある日は、近所の方に旬の野菜をもらったときです。家でも野菜は作っていますが、畑で育てていないものや珍しい野菜があるときに、いただきます。たけのこ、ほうれん草、レタスにズッキーニ…。季節の野菜が育てた方



お疲れさま！お茶をどうぞ。11月嘉川清掃の日の活動

の思いといっしょに届くとき、私は「人と人とのつながり」のすばらしさを感じます。

私は、「お互いを思いやる心」が嘉川のよさだと思っています。例えば、登下校では、地域のボランティアの方に見守られています。そのおかげで、私たちは安心して学校に通うことができます。また小学生のときには米作り体験やもちつきで、地域の方にお世話になりました。私たち中学生は、ボランティアグループ「きずな」の活動の中で、駅周辺の掃除などをしています。このように、年齢をこえてお互いを思いやり助け合っていると、嘉川のよさだと思っています。私はこの「きずな」を大切に、これからも過ごしていきたいと思っています。

いきいき活動をめざして

団体およびサークル紹介

たくさんの方の団体やサークルが活動しています。ぜひご参加ください。

祈りをこめて

嘉川更生保護女性会 田村 文子

更生保護女性会の活動は、あたたかい人間愛をもって、過ちを犯した人や非行のある少年が更生し、社会の中で円滑に立ち直ることが出来るよう支援します。山口地区は東は仁保から西は佐山まで、14支部あります。毎月山口で支部長会議があり、決ったことは嘉川支部の定例会で伝えていきます。

7月は社会を明るくする月間で、先日も山口のアーケード街を市長さんをはじめ、市内の更生保護団体の会員200名で、消防の音楽隊を先頭にパレードをしました。嘉川更女からも3名参加しました。また、保護会のひまわり寮の夕食当番が各支部順番でまわり、7月は嘉川が当たりました。先輩会員のお知恵をかり献立をたて、6月の定例会で調理実習をしました。その他刑務所の運動会や演芸会に参加し、昨年は嘉川から銭太鼓を披露しました。年末には矯正展（受刑者が製作した家具、机、靴、木工品などの展示即売）が開



嘉川地域交流センターで「ひまわり寮」への食事作り

俳句同人「ひいな会」

松村 桂子(宮の原)

催され、更女も遊休品や物品販売で協力しています。今年は11月16日、17日きららドームであります。皆さんぜひ見に来てください。

毎月1回第4週(火)午後1時、会員10名が一人10句自作の俳句を持って句会開始。

講師として行橋市より進 菁亀・峰月両先生を迎えて120句が当日の教材です。名句あり迷句あり。僅か17音の中に広がる情景や

心情は、言葉の持つ力の偉大さであり、魅力だと思えます。その魅力が「ひいな会」発足53年目という長い年月を紡いできました。

時には場所を替えて現地で詠む「吟行」も行ないます。本年は嘉川磯多の旧邸周辺の冬景色、春は後河原の桜風景の吟行をし、句作も友情も深めました。また、市・県の大会にも参加し、同人誌にも自由に投句しています。

俳句はいつからでも始められます。若くても停年後でも、ペンと紙と心があれば直ぐに始められます。費用も僅かで心配ありません。

何気ない日常に季節を感じた瞬間を切り採って、日々を新鮮に暮らしたいと思っています。

耐へて来しこの身に今朝の爽やかさ

風呂 八千代 (発足当時から会員)



「防府天神梅吟行」 下高根 今本英子撮影

高齢者生きがいセンター 「なごみの家」を訪ねて

編集部

「なごみの家」は、JR宇部線深溝駅を降りて3分、住吉神社の隣り、一面田んぼが広がる静かな田園地帯の一角にあります。

平成12年4月、高齢者の生きがいと住民相互のコミュニケーションを図る場として建設されました。中は二間続きの和室が主で、ゆったりとして落ち着いた雰囲気です。

現在は管理人3人が交替で運営に当たり、年間約2400人近くの利用者があります。これは市内10施設の中で、3番目に利用者数が多いそうです。

現在、利用研修団体は10グループです。

利用研修団体名

- 好謡会（観世流）
- 好謡研修会（〃）
- 鷺明吟詠会
- 宝心流嘉川支部
- 歌謡同好会
- 歴史講座（なごみの家直営事業）
- 囲碁同好会
- 戸塚刺しゅう教室
- 折り紙同好会
- 煎茶の会（小笠原流）

中でも「なごみの家」自主事業の「郷土歴史講座」は毎年好評で、今年も40名の受講参加者があり、年8回予定されています。その内の1回は貸切バスを利用したの現地探訪で、みなさんのお楽しみの一つだそうです。

平成22年の9月には、盛大に10周年記念行事も行なわれました。

「なごみの家」は、嘉川の中心地から離れたところにあるので、なおのこと人と人をつなぐ「生きがいセンター」として、大切な集いの場になっているようです。

のほり 幟をつくりました

社会部会

協議会では互いに進んで「あいさつ」ができる明るい地域づくりを目指しています。そこで地区をあげて「あいさつ運動」に取り組んでいることをもっと多くの皆さんに知っていただくために、各自自治会、学校、幼稚園等の協力を得て「あいさつ運動推進地域」の幟を9月から立てることになりました。身近などこに立っているか捜してみてください。



備品無料貸出 について

嘉川自治連合会ではニュースポーツの備品貸出を行なっています。

地域の皆さんの健康増進に役立てていただきたいと思います。

地域のイベントなどに活用を希望される方は、自治連合会事務局までお問い合わせください。

- 電話：989—2018
- 備品：カローリングセット
ダーツセット
グランドゴルフ
ペタンク

取り組んでいます

地域産品・交流創出事業

市南部9地域の各イベントを結んで開催されるスタンプラリー、その名も「ヤマグチナンブ9」。

嘉川地域づくり協議会も地域産品・交流創出事業として参加し、オリジナルイベントとして「謎解きアドベンチャー」を実施します。

「ヤマグチナンブ9」のリーフレットは、9月頃皆様のご家庭に配布予定です。ぜひ、ご参加ください。

編集後記

9月に入り敬老のニュースが多くなってきました。年々高齢化が進んでいます。いつまでもお元気な人は日頃から様々なことに興味を持ち、人との出会う関わりを大切にしているように思います。そのような豊かな生き方に役立つ情報の提供ができればと思っています。